

対策のポイント

医療機関・薬局・介護系事業所等の医療・介護情報や、在宅療養に係る日々の情報を、ICTを活用して情報共有ができる体制を整備することにより、各地域の医療・介護・福祉等の地域資源を切れ目のないネットワークでつなぐ、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

平成31年度の取組

1 医療機関・薬局・介護系事業所等が保有する医療・介護情報を互いに共有するネットワークを県内全域で構築

- 拡** 高知県医療情報通信技術連絡協議会が取り組む「地域医療介護情報ネットワーク」の構築を支援する。
- 新** 幡多圏域内を対象地区として幡多医師会が取り組む「はたまるねっと」の圏域内の拡大を支援する。
- 拡** 両システムを連携させ、県内どこの医療機関等でもICTを活用して情報連携ができる体制の整備を支援する。

2 在宅療養に係る日々の情報を多職種間でリアルタイムに共有する「高知家@ライン（こうちけあらいん）」を県内全域で拡大

- 新** 安芸圏域をモデル地域として設定のうえ、その全域でシステムを活用し、有効性のアピールや認知度の向上を図り、県内全域への波及を目指す。
- 新** 県内全域で「高知家@ライン」の参加施設拡大を目指すため、タブレット購入経費について支援する。

ICTを活用した地域包括ケアシステムの推進イメージ

